

記録区分番号：EMW630016

作成日：2021年5月31日


2020年度 環境経営レポート

(2020年4月1日～2021年3月31日)




白山商事株式会社

ISO26000認証・登録番号 0001382



環境経営方針



【基本理念】

白山商事株式会社は、お客様が必要とする商品を販売する際には、環境に配慮した商品やカーボンオフセット商品など環境にやさしい商品の提供を推進し、快適で豊かに暮らすことができる社会の実現に貢献するとともに、業績拡大に向けて環境経営に取り組んでまいります。

【行動方針】

1. お客様の課題や要望にこたえるため、当社の持つ技術やネットワークを通じて、環境配慮型商品の販売を推し進めます。


環境経営レポート

2. 事業活動が環境に与える影響を的確に捉え、次の環境目的を定めて環境保全の継続的改善を推進いたします。
 - (1) 二酸化炭素排出量の削減
 - (2) 廃棄物排出量の抑制
 - (3) 水使用量の抑制
 - (4) 化学物質の抑制
3. 環境経営活動を推進するために、環境経営マネジメントシステムを構築し、定期的に見直し継続的改善に努めます。
4. 当社に適用される環境関連法規制及び契約を遵守します。
5. 全構成員に環境経営方針を周知徹底し、継続的に環境教育を実施することにより、構成員の環境に対する知識を高め、環境に配慮した事業を促進します。
6. 地域社会の一員として、環境コミュニケーションに積極的に取り組み、当社のホームページに環境経営方針および環境経営レポートを掲載し、当社の環境への姿勢を広く内外に示してまいります。

2003年6月1日(制定)

2018年10月1日(改定)

白山商事株式会社
代表取締役社長 山本 廣明



目 次

1	当社の概要	
2	環境活動組織図	
3	環境活動の責任と権限	
4	環境目標及び達成	
4-1	目標達成状況（2020年度）	
4-2	直近3年間達成状況の推移（2018年度～2020年度）	
4-3	中期目標値（2021年度～2023年度）	
5	2020年度 環境目標達成のための活動	
6	2020年度環境活動の取組結果と評価	
6-1	目標達成の結果と評価	
6-2	その他の取組状況	
7	2021年度 環境活動の取組内容	
8	関連法令法規への違反の有無	
9	訴訟等の有無	
10	代表者による全体評価と見直し結果	
付	環境配慮型商品の紹介	

1 当社の概要

記録区分番号：EMW630016

事業者名：白山商事株式会社

URL：<http://www.hakusanshoji.co.jp>

所在地：（本社）東京都豊島区南池袋1丁目10番13号 荒井ビル6階

（物流センター）東京都品川区勝島1丁目4番11号 東京倉庫㈱勝島倉庫317号棟

（埼玉事業所）埼玉県飯能市仲町12番10号 飯能サンプラザB1階

代表者：山本 廣明／代表取締役社長

環境管理責任者：坂本 憲郎／特機営業部 次長

環境担当者：森田 義和／総務部長（環境委員会事務局）

連絡先：電話番号（03）5958-9411

FAX 番号（03）5958-9415

E-mail：morita@hakusanshoji.co.jp

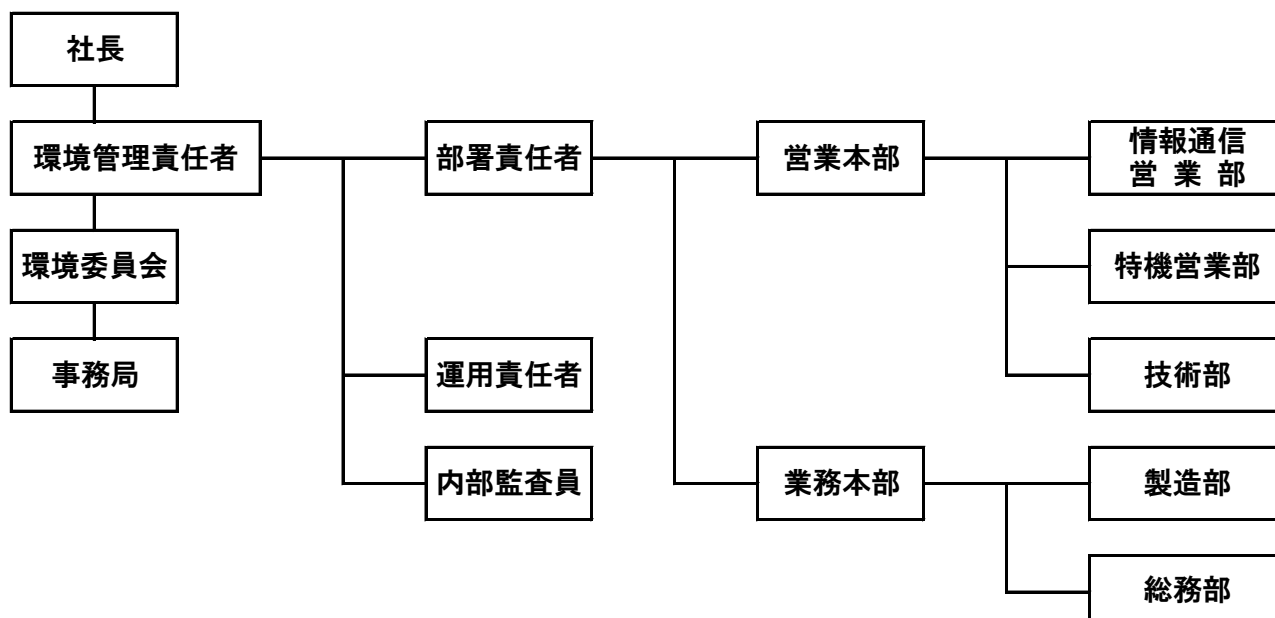
事業内容：通信機器類・金属圧接溶接機等の販売

事業規模

事業年度	2018年度	2019年度	2020年度
売上高（百万円）	981	1,037	1,007
従業員数	22	23	23
・本社	20	21	17
・物流センター	2	2	2
・埼玉事業所	-	-	4
延床面積（m ² ）	513	513	675
・本社	288	288	288
・物流センター	225	225	225
・埼玉事業所	-	-	162

（注）当社は3月決算。2020年度は「2020年4月1日から2021年3月31日」まで。

2 環境活動組織図



3 環境活動の責任と権限

社長	① 環境マネジメントシステムの最高責任者
	② 環境方針の決定
	③ 環境管理マニュアルの承認
	④ 環境管理責任者の任命
	⑤ 環境委員会の委員を任命
	⑥ 環境マネジメントシステムの評価と見直し
環境管理 責任者	① 環境マネジメントシステムの確立、運用、維持及び改善
	② 環境管理マニュアルの審議
	③ 「環境経営活動計画表」の審議
	④ 「環境経営活動計画表」の承認
	⑤ 環境経営目標の達成状況の承認及び不適合扱いの決定
	⑥ 教育訓練計画及び結果の承認
	⑦ 内部監査員を任命
	⑧ 内部監査計画及び監査結果の承認
	⑨ 環境マネジメントシステムの評価用資料の作成と社長への報告
	⑩ 環境の負荷及び取組の自己チェック表作成
	⑪ 手順書の承認
部署責任者	① 部署内への環境マネジメント活動の周知
運用責任者 (共通)	① 環境経営目的・目標の達成手段の立案
	② 環境経営目的・目標の周知と徹底
	③ 環境経営活動計画表の作成
	④ 3ヶ月毎の達成状況について環境管理責任者に報告
	⑤ 教育訓練の実施と報告
	⑥ 不適合の是正処置についての立案・実施・報告
環境委員会	① 環境マネジメントシステムに関する基本計画の策定
	② 環境管理マニュアルの制定・改訂の審議
	③ 環境負荷の特定
	④ 環境経営目標の設定
	⑤ 環境経営目標の達成状況についての審議
	⑥ 教育訓練計画の審議と教育担当者の決定
	⑦ 環境経営レポートの審議
	⑧ 内部監査報告書の審議
	⑨ 運用責任者の決定
	⑩ 環境マネジメントシステム見直し評価の社長指示を受け、具体策の審議
事務局	① 環境文書及び環境記録の保存
	② 公開すべき環境文書及び環境記録のHAKUSAN-NET（社内用Web）への掲載
	③ 環境委員会議事録の作成・保管
内部監査員	① 内部監査を実施し、結果を的確に評価し、環境管理責任者に報告
	② 客観的事実に基づく監査を実施する為の必要な資料の提供及び説明を被監査部門へ求めることが出来る。
構成員	① 環境に関する業務の実行

4 環境目標及び達成

記録区分番号：EMW630016

4-1 目標達成状況（2020年度）

項目	目標	実績	達成率
二酸化炭素 排出量	本社	22,000	17,759 124%
	物流センター	3,100	2,980 104%
	埼玉事業所	19,000	23,803 80%
	電気使用量 kwh/年	44,100	44,542 99%
	二酸化炭素 kg-CO ₂ /年	20,066	20,267 99%
廃棄物 排出量	環境経営レポート	--	92.9 --
	物流センター	--	30.4 --
	埼玉事業所	--	72.1 --
	可燃ごみ kg/年	--	195.4 --
	本社	--	6.0 --
	物流センター	--	14.4 --
	埼玉事業所	--	1.7 --
不燃ごみ kg/年	--	22.1 --	
水使用量	本社	--	125.0 --
	物流センター	15.0	14.0 107%
	埼玉事業所	27.0	19.0 142%
	水使用量 m ³ /年	--	158.0 --
環境商品の販促	環境配慮型商品販売 千円	97,000	62,801 65%
紙使用量削減	A ⁰ -用紙使用量 kg/年	241	205 118%
	段ボール使用量 kg/年	365	271 134%

※1) 達成率＝目標／実績

※2) 二酸化炭素・実排出係数は「2019.8 東京電力I^o」-P^o-トナ報告：”0.455（t-CO₂/kWh）”を使用

【目標設定の根拠】

- ・二酸化炭素排出量の目標値は、活動の浸透により、本社で1,000kwh、物流センターで100kwh削減して設定した。新たに埼玉事業所が追加となり、前年実績が無い中で、2020年2月と3月の実績より目標を設定した。
- ・廃棄物排出量について、長年の活動により若干の増減はあるものの、削減目標の設定は行わない事とした。但し、排出量の計測は、従来通り行う事とした。
- ・水使用量：本社では、ビル全体の使用量から配賦となる為、目標の設定は行わず、使用量の把握のみとした。物流センターでは、従来と同等の目標とした。埼玉事業所は、二酸化炭素排出量と同様に、短期間の前年実績より、目標の設定を行った。
- ・環境配慮商品の販売では、前年にA⁰線用端子の販売が開始され、目標を大幅に達成した事、今年度も継続する見通しである事から、目標値を40%近く上げて設定をした。
- ・コピー用紙使用量では、「アルミ線用端子拡販」「海外向けレーलगラス圧接機」のプレゼン資料での消費が継続して見込める事、埼玉事業所が開業され、業務量が増加した事による消費拡大を考慮し、前年度の目標値を据え置き、241kg（55,500枚）とした。

【実績】

- ・二酸化炭素排出量（電気使用量）では、埼玉事業所で大幅に目標が達成出来なかったものの、前年実績値が無い状態で目標設定を行った為であり、本社と物流センターでの削減により、全社では99%の実績となった。
- ・水使用量では、物流センターと埼玉事業所で、目標を達成した。
- ・環境に優しい商品の販売促進では、期待をしたA⁰線用端子での拡販が目標を下回り、PCB保管箱、M⁰リット^o溶接機、Gプレスでの挽回を模索したが、コロナ禍で営業活動が制約された事もあり、目標を達成する事が出来なかった。
- ・紙使用量削減では、A⁰-用紙の使用量は、埼玉事業所が追加されたにも関わらず、少しづつではあるが資料の電子化が進んだ事、裏紙の積極的な使用が進み、年間での目標を大幅に達成する事が出来た。又、段ボール

ル使用量では、再利用の活動が定着していて、目標を達成した。

4-2 直近3年間達成状況の推移（2018～2020年度）

項 目		2018年度			2019年度			今年度（2020年度）		
		計画	実績	達成率	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率
二酸化炭素 排 出 量	本社	20,000	20,124	99%	23,000	19,176	120%	22,000	17,759	124%
	物流ﾂﾀ	3,200	2,823	113%	3,200	2,775	115%	3,100	2,980	104%
	埼玉事業所	--	--	--	--	--	--	19,000	23,803	80%
	電気使用量 kwh/年	23,200	22,947	101%	26,200	21,951	119%	44,100	44,542	99%
	環境経営レポート	10,556	10,441	101%	11,921	9,988	119%	20,066	20,267	99%
廃 棄 物 排 出 量	本社	--	76.1	--	--	229.9	--	--	92.9	--
	物流ﾂﾀ	--	30.6	--	--	29.5	--	--	30.4	--
	埼玉事業所	--	--	--	--	--	--	--	72.1	--
	可燃ごみ kg/年	--	106.7	--	--	259.4	--	--	195.4	--
	本社	--	73.2	--	--	27.8	--	--	6.0	--
	物流ﾂﾀ	--	14.7	--	--	15.5	--	--	14.4	--
	埼玉事業所	--	--	--	--	--	--	--	1.7	--
不燃ごみ kg/年	--	87.9	--	--	43.3	--	--	22.1	--	
水使用量	本社	--	150.0	--	--	160.0	--	--	125.0	--
	物流ﾂﾀ	15.0	14.0	107%	15.0	13.0	115%	15.0	14.0	107%
	埼玉事業所	--	--	--	--	--	--	27.0	19.0	142%
	水使用量 m ³ /年	--	164.0	--	--	173.0	--	--	139.0	--
ｸﾞﾘｰﾝ購入	事務用消耗品購入額比 %	71.5	88.0	123%	--	--	--	--	--	--
環境商品の販促	環境配慮型商品販売 千円	70,000	34,812	50%	70,000	116,397	166%	97,000	62,801	65%
紙使用量削減	北 ¹ -用紙使用量 kg/年	241	235	103%	241	196	123%	241	205	118%
	段本 ¹ -用紙使用量 kg/年	287	264	109%	365	361	101%	365	271	134%

※1) 二酸化炭素・実排出係数は「2019.8 東京電力ｲﾝﾌﾞｰﾊﾞｰﾄﾞｰ報告 : ” 0.455 (t-CO2/kWh) ”」を使用

4-3 中期目標値（2021年度～2023年度）

記録区分番号：EMW630011

項 目		今年度実績	2021年度	2022年度	2023年度
二酸化炭素 排 出 量	本社	17,759	21,000	21,000	21,000
	物流センター	2,980	3,100	3,100	3,100
	埼玉事業所	23,803	21,400	21,400	21,400
	電気使用量 kwh/年	44,542	45,500	45,500	45,500
	二酸化炭素 kg-CO ₂ /年	20,267	20,703	20,703	20,703
廃 棄 物 排 出 量	環境経営レポート	92.9	※廃棄物排出量の実績値 の把握とする。		
	物流センター	30.4			
	埼玉事業所	72.1			
	可燃ごみ kg/年	195.4			
	本社	6.0			
	物流センター	14.4			
	埼玉事業所	1.7			
	不燃ごみ kg/年	22.1			
水使用量	本社	125.0	--	--	--
	物流センター	14.0	15.0	15.0	15.0
	埼玉事業所	19.0	25.0	25.0	25.0
	水使用量 m ³ /年	139.0	--	--	--
環境商品の販促	環境配慮型商品販売 千円	62,801	106,000	116,000	116,000
紙使用量削減	北一用紙使用量 kg/年	205	235	235	235
	段ボール使用量 kg/年	271	365	365	365

- ① 二酸化炭素排出量⇒電気使用量は、今年度の実績を踏まえ、中期目標の見直しを実施した。（本社）
又、埼玉事業所では、試験装置の稼働状況により、電気使用量が大幅に変化するが、平均的な稼働状況を想定し、中期の目標を設定した。（埼玉事業所）
- ② 廃棄物排出量削減の意識は浸透しており、前々年度より目標設定から除く事とした。
※：目標設定はせず、排出量の計測を継続して実施する。（埼玉事業所でも実施する。）
- ③ 水使用量は、15.0m³の維持継続とした。（物流センター）
埼玉事業所は、前年度実績を踏まえ、25m³に目標値を下げ、次年度以降も継続目標とする。
（本社は、テナントビルの為、目標を設定出来ないが、使用量の計測が可能のため実施する。）
- ④ 環境に優しい商品の販売促進では、今年度アルミ線用端子の販売がやや鈍り、その他商材での挽回がままならない結果となった。次年度以降は、アルミ線用端子で新規顧客への販売開始が見込まれるため、目標の見直しを行わない事とした。
- ⑤-1 紙使用量削減・北一用紙は、埼玉事業所が加わったにも関わらず、年間で目標値をクリアする事が出来た。
資料の電子化も少しずつではあるが、浸透してきており、中期目標を下げて計画をした。
- ⑤-2 紙使用量削減・段ボールは、今年度、アルミ線用端子の納入が低調で、大幅に目標を下回る結果であった。
今年度以降は、新規顧客への販売開始が見込まれる為、目標値の見直しは、行わない事とした。

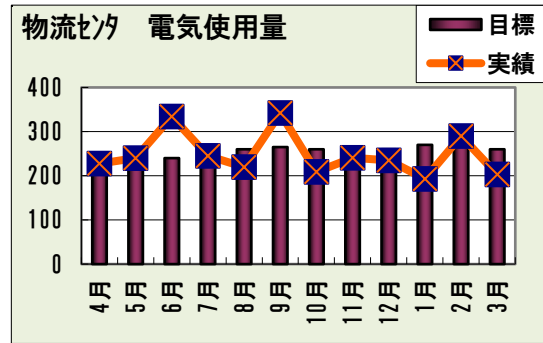
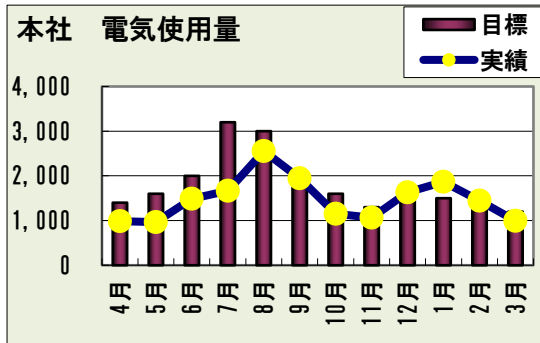
5 2020年度実施した環境目標達成のための活動

目 的		達成のための活動計画
二酸化炭素 排出量削減	電気使用量の削減	<p>IT設定温度：冷房時28℃、暖房時19℃を基本とする</p> <p>冷房使用は、原則就業時間内とする</p> <p>昼休み時間、照明消灯の励行</p> <p>OA機器未使用時電源OFF励行（本社、センター）</p> <p>クールビズ、ウォームビズの実施</p> <p>残業時、電気機器の使用はこまめに個別ON/OFF</p>
廃棄物排出量	可燃ごみ分別の徹底 及び排出量の計量	<p>分別確認パトロールの随時実施</p> <p>分別ルール徹底</p>
	不燃ごみ分別の徹底 及び排出量の計量	<p>分別確認パトロールの随時実施</p> <p>分別ルール徹底</p> <p>梱包材料の再利用化</p>
	資源ごみ 指定分別処理の徹底	<p>分別確認パトロールの随時実施</p> <p>分別ルール徹底</p>
水使用量削減	水使用量の削減	節水意識の徹底（標語作成し、掲示した。）
環境に優しい 商品の販売	環境商品の販売促進	<p>HPの積極的活用</p> <p>環境商品販売品目を増やす</p>
紙使用量削減	紙-用紙使用量の削減	<p>社内伝達書類のメール化の徹底</p> <p>試し印刷時の裏紙使用の徹底</p> <p>期限切れ保管書類の再利用の徹底</p> <p>裏紙利用制限の緩和により、使用可能な裏紙量を増加させた</p> <p>※A4・A3を対象に管理</p>
	段ボール箱使用量の削減	<p>段ボール箱の再利用</p> <p>簡易包装の徹底</p> <p>毎月使用量を公表し、使用量を意識する</p> <p>商品にあった箱かどうかを確認しあう</p>

記録区分番号：EMW630016

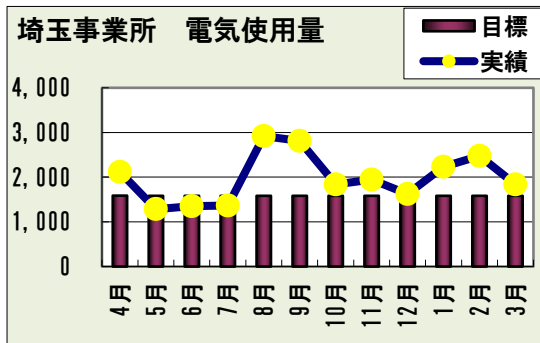
6-1 目標達成の結果と評価

【1】 二酸化炭素排出量の削減 ⇒ 電気使用量の削減



2020年度目標	2020年度実績
22,000 kWh	17,759 kWh
10,010kg-CO ₂	8,080 kg-CO ₂
達成率 124 %	

2020年度目標	2020年度実績
3,100 kWh	2,980 kWh
1,410 kg-CO ₂	1,356 kg-CO ₂
達成率 104 %	

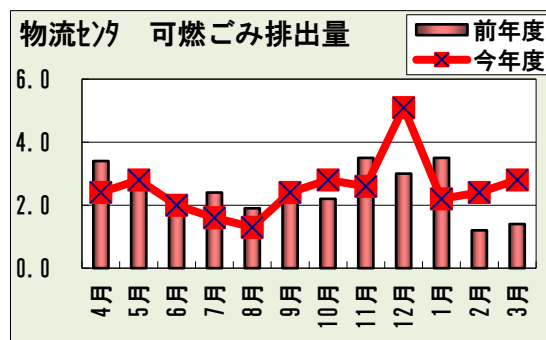
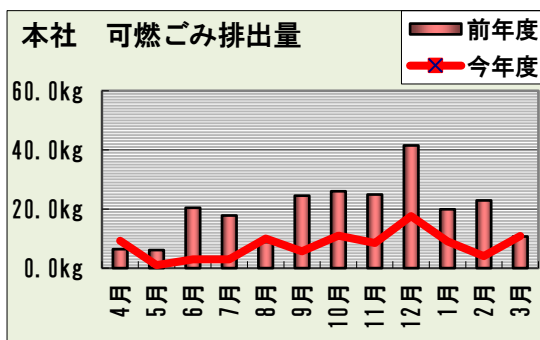


【評価】

本社では、今年度の目標値を下げたものの、節電意識が浸透した事、該当部分での電気使用を極力抑えた事、加えてコロナ禍で出勤率を抑制した事により、大幅に目標を下回ることが出来た。一方、埼玉事業所は新たに追加されたサイトであり、前年度実績が無く、数か月の実績から目標を設定した事、温度サイクル試験機の稼働が想定以上に多かった事により、目標を大幅に上回る結果となった。全体では、99%の達成率となっており、新年度からは再度、全社的に節電活動を実施していく。

2020年度目標	2020年度実績
19,000 kWh	23,803 kWh
8,645kg-CO ₂	10,830 kg-CO ₂
達成率 80 %	

【2-1】 廃棄物排出量の削減 ⇒ 可燃ごみ排出量の削減

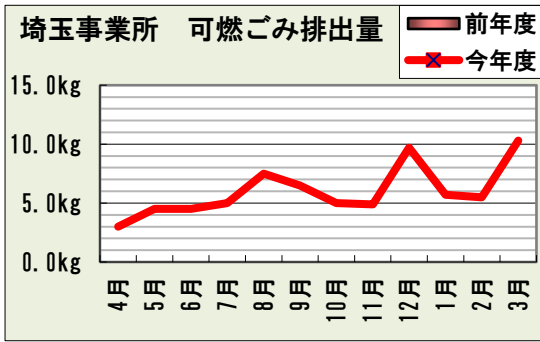


2019年度実績	2020年度実績
----------	----------

2019年度実績	2020年度実績
----------	----------

229.9 kg	92.9 kg
対前年度比 40.4%	

29.5 kg	30.4 kg
対前年度比 103.1%	

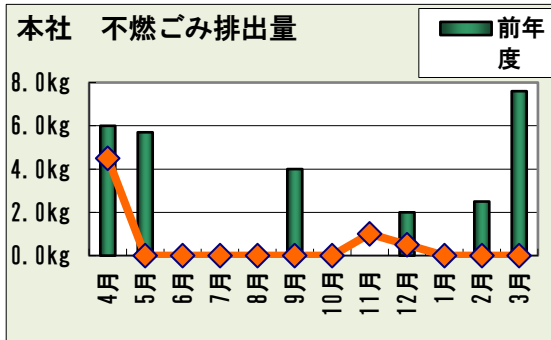


【評価】

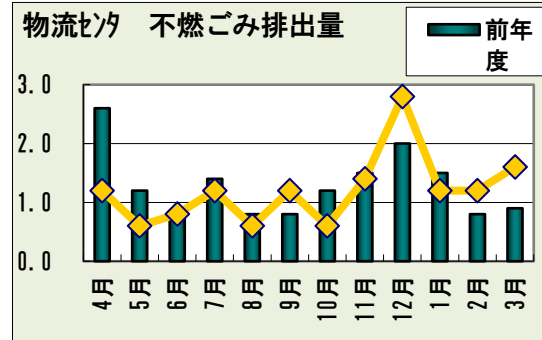
目標値の設定を廃止した為、対前年度比での表記とした。特に本社では、コロナ禍での出勤率削減と、分別意識が浸透している事もあり、大幅に削減される結果となった。

2019年度実績	2020年度実績
---	72.1 kg
対前年度比 --- %	

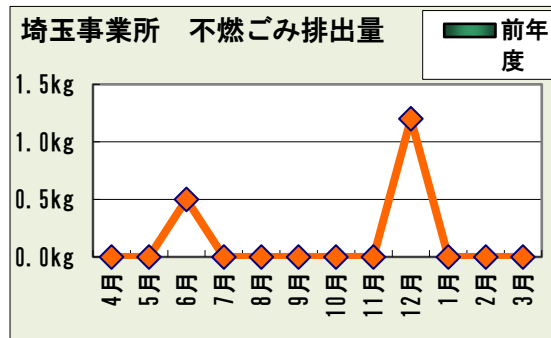
【2-2】 廃棄物排出量の削減 ⇒ 不燃ごみ排出量の削減



2019年度実績	2020年度実績
27.8 kg	6.0 kg
対前年度比 21.6%	



2019年度実績	2020年度実績
15.5 kg	14.4 kg
対前年度比 92.9%	



2019年度実績	2020年度実績
---	6.0 kg
対前年度比 --- %	

【評価】

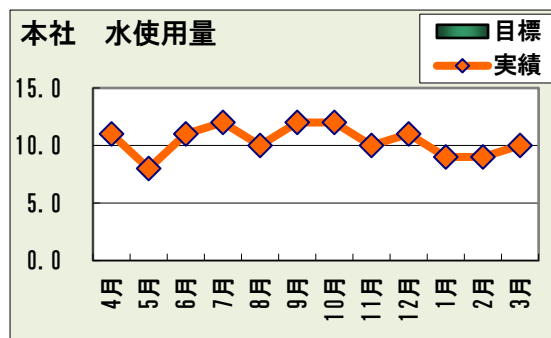
目標値の設定を廃止した為、対前年度比での表記とした。特に本社では、コロナ禍での出勤率削減と、分別意識が浸透している事もあり、大幅に削減される結果となった。

【2-3】 廃棄物排出量の削減 ⇒ 資源ごみ指定物100%回収

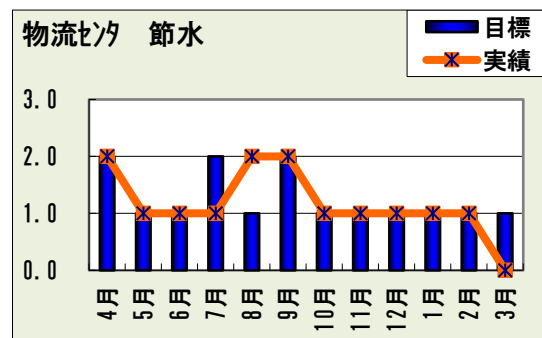
【評価】

全社でルールが守られ、指定資源ごみは100%の回収（再利用化含む）を達成した。

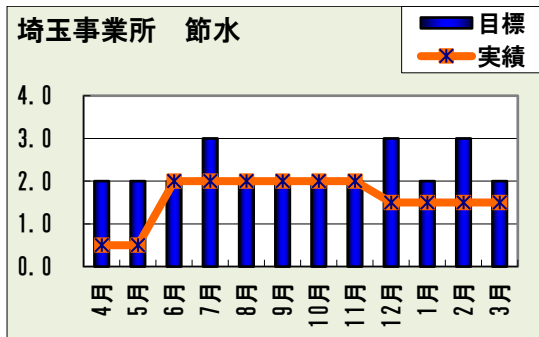
【3】 水使用量の削減



2020年度目標	2020年度実績
---	125 m³
達成率 --- %	



2020年度目標	2020年度実績
15 m³	14 m³
達成率 107 %	

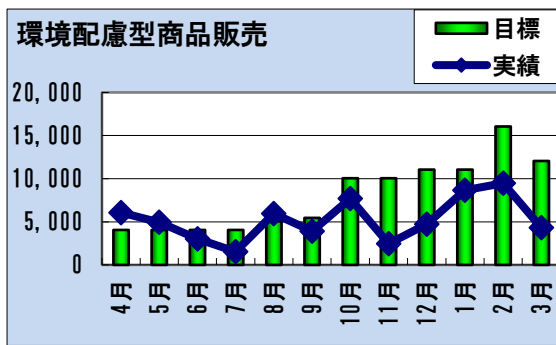


【評価】

今年度は、節水の標語を作成し、該当部署へ掲示をし節水に向けた活動を行った事により、節水意識の浸透がさらに進み、目標を達成した。

2020年度目標	2020年度実績
27 m ³	19 m ³
達成率 142 %	

【4】環境に優しい商品の販売促進

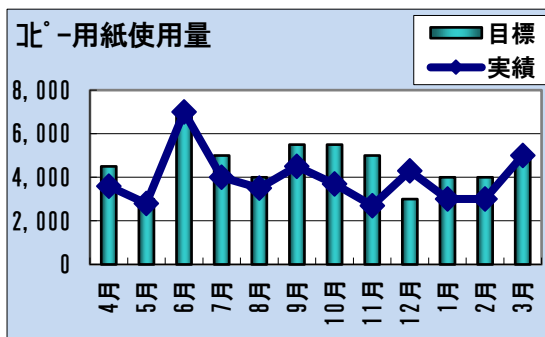


2020年度目標	2020年度実績
97,000 千円	62,801 千円
達成率 65 %	

【評価】

アルミ線用端子の販売が低迷し、PCB保管箱やハイブリッド溶接機、G-プレスで拡販をし、挽回を模索したが、コロナ禍による販売活動の制約もあり、目標を達成する事が出来なかった。次年度に向けてアルミ線用端子を新規顧客へ販売する活動を行っており、環境配慮型商品の販売には特に力を入れていく事とする。

【5-1】省資源紙使用量の削減 ⇒ 北°-用紙使用量の削減

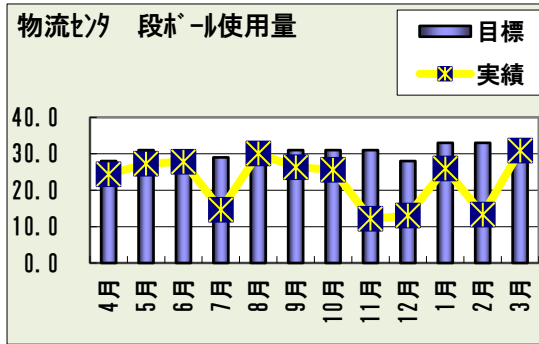


2020年度目標	2020年度実績
241 kg	205 kg
達成率 118 %	

【評価】

埼玉事業所が追加されたにも関わらず、資料の電子化や裏紙の使用制限見直しによる裏紙の使用促進等により、コピー用紙の使用量削減が進む結果となった。運用責任者と運用担当者で積極的に裏紙使用のアピールを行っており、少しずつではあるが社員へ意識の浸透がはかれ、目標を達成する事が出来た。

【5-2】省資源紙使用量の削減 ⇒ 段ボール使用量の削減



2020年度目標	2020年度実績
365 kg	271 kg
達成率 101 %	

【評価】

アルミ線用端子の納入低迷により、納入時の段ボール使用量が減少し、結果として全体の使用量が削減する結果となった。このような状況ではあるが、使用済み段ボールの効率的な再利用、簡易包装（紙製袋）の活用の徹底を継続して実施しており、これらの活動を継続しながら、更なる削減に向けた活動を行っていく。

6-2 その他の取組状況

【出荷用トラックからの二酸化炭素排出量削減】
 運送委託業者への指導事項は昨年同様実施し、特にアイドリングストップの励行に付いての要請を行っている。今後も引き続き監視を行う。
 埼玉事業所でも物流センター等への搬送の為、運送委託業者を使用しており、物流センターと同様に、アイドリングストップの励行に付いて、出入り口にポスターを掲示するとともに、要請を行っている。

【運送委託業者のトラックの【窒素酸化物および粒子状物質（NO_x）のPM基準】
 遵守されていることを確認した。今後も引き続き監視を行う。

7 2021年度実施する環境目標達成のための活動

目 的		達成のための活動計画
二酸化炭素 排出量削減	電気使用量の削減	基本的なIT設定温度：冷房時28℃、暖房時19℃とする 扇風機の併用
		ITの使用は、原則就業時間内とする
		昼休み時間、照明消灯の励行
		OA機器未使用時電源OFF励行（本社） 但し、未使用時間の設定が必要。
		クールビズ、ウォームビズの実施
		残業時、電気機器の使用はこまめに個別ON/OFF
		未使用試験機のブレーカーOFF（埼玉事業所）
廃棄物 排出量の把握	可燃ごみ排出量 （管理対象外）	分別ルールの厳守・徹底の為に、分別確認パトロールを随時実施する。
	不燃ごみ排出量 （管理対象外）	分別ルールの厳守・徹底の為に、分別確認パトロールを随時実施する。 梱包材料の再利用化
	資源ごみ 指定分別処理の徹底	分別ルールの厳守・徹底の為に、分別確認パトロールを随時実施する。
水使用量削減	水使用量の削減	節水意識の徹底
		節水スローガンの掲示
環境に優しい 商品の販売	環境商品の販売促進	HPの積極的活用
		環境配慮型製品（4品目）の積極的拡販
		全員による積極的PRの実施
紙使用量削減	用紙使用量の削減	資料・書類の電子化への働きかけ
		期限切れ保管書類の再利用の徹底
		使用枚数記録への記入を徹底する
	段ボール箱使用量の削減	段ボール箱の再利用 簡易包装の徹底 毎月使用量を公表し、使用量を意識する 商品サイズに合わせた包装

8 関連法規への違反の有無

- ・ 当社の環境関連法規の遵守状況を確認した結果、遵守しております。

法令法規等名称	遵守状況 (確認済：○)
廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃棄物処理法）	○
ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法（PCB廃棄物特措法）	○
品川区廃棄物の処理および再利用に関する条例	○
豊島区廃棄物の発生抑制、再利用による減量及び適正処理に関する条例	○
容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律	○
特定家庭用機器再商品化法	○
消防法	○
都民の健康と安全を確保する環境に関する条例	○
埼玉県環境基本条例	○
埼玉県地球温暖化対策推進条例	○

9 訴訟等の有無

関係機関からの違反等の指摘はなかった。

10 代表者による全体評価と見直し結果、及び今後の活動方針

今年度はコロナ禍で出勤率を3割程度にしたことで、普段通りの活動ができない環境下において、構成員が協力しあって目標を達成することができたと推察します。SDGsの動きが活発になってきて、あらゆる場面でクローズアップされてきました。誰かがやるだろうではなく、自分達でできること、会社組織でできることを推進し、持続可能な社会づくりに貢献してまいります。

2021年3月
代表取締役社長 山本 廣明

弊社の環境活動レポートをご覧くださいましてありがとうございます。
環境レポートにも報告しておりますように、弊社では「環境に優しい商品」の販売に努めております。その対象としております商品について、以下に紹介させていただきます。

① レジボックス（PCB保管箱）

レジボックスは、特別措置法で規制されています「PCB（Poly Chlorinated Biphenyl＝ポリ塩化ビフェニル）廃棄物」を安全に保管する堅固な容器です（PCB保管箱）。



※PCB廃棄物を保管する容器であり、環境商品に登録をしています。

② アルミ電線用接続端子

近年トランス業界や電力線業界、自動車業界では、銅価格の上昇以外にも「製品重量の軽量化＝省エネ」を目的として銅電線のアルミ化を促進させる動きがあります。しかしアルミ電線の接続には大きな課題（電解腐食、酸化被膜、強度低下、応力緩和）があり実用化阻害の大きな要因となっています。弊社では、これらの課題を解決するアルミ電線用の接続端子技術を販売しております。



※限りある資源の銅線をアルミ線に変更する事が出来ます。この為、環境商品として登録をしています。

③ ハイブリット溶接機

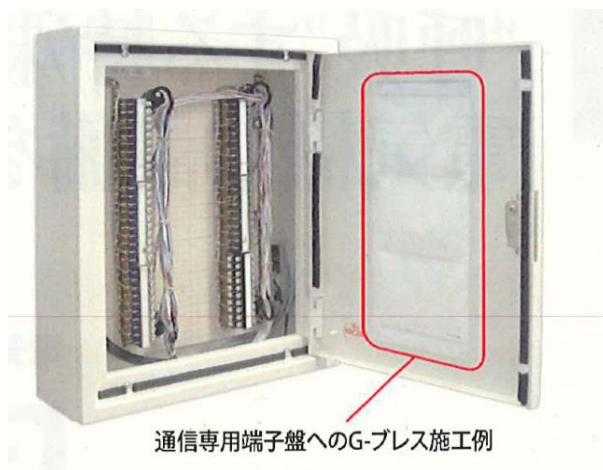
ビルの鉄筋コンクリート構造とは、引張に強い鉄筋と圧縮に強いコンクリートを組合せたものですが、帯筋を溶接構造の閉鎖型にすることで耐震性を更に高めることが出来ます。近年ビルの高層化に伴い鉄筋には高強度材が多く採用されるようになってきました。弊社の溶接機は、複合溶接工程（ハイブリット溶接）方式を採用することで、高強度材鉄筋を高性能（強い接合強度）、高信頼性（安定した品質）、そして経済的（短時間）に溶接することが出来る装置です。



※従来の溶接機と比較して、電力消費量を大幅に削減出来る溶接機です。この為、環境標品として登録をしています。

④ G-ブレス

結露防止シート「G-ブレス」は、調湿特性にすぐれた特殊な高分子ポリマーが設備の結露を防ぎ、トラブルを未然に防止する高性能な設備保全アイテムです。電力を使用せずR o H S 指令にも適合した環境にやさしいエコロジーな製品です。



※結露を防止する商品で、端子台等が錆による不良品になる事を防ぎます。この為、環境標品として登録をしています。

【お電話でのお問合せ先】 03-5958-9411 （平日9:00～17:00）

- ① holzボックス（若園）
- ② アル電線用接続端子（賀川、森）
- ③ ハイブリット溶接機（坂本、田中）
- ④ G-ブレス（庄司、石橋）

土・日・祝・時間外はWEBフォームからお問合せ下さい。

<http://www.hakusanshoji.co.jp/index.html>